

2023 年度の事業報告書

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人ゆう・さぼーと

1 事業の成果

当法人が運営する『ヘルパーステーションそらいろ』は 12 年目を迎え、利用される方は 72 名と微増しました。スタッフ 26 名と増え、安定した事業活動を行うことができました。

『相談支援センター空色』は 10 年目で、相談員 1 名（兼務）の体制で事業実施しました。目標としていた相談支援員の増員等の職員体制の整備はできませんでした。利用者数減り 0 名となり、地域での活躍はできていませんが今後も継続していきます。

2014 年度に開始した公的福祉サービスが利用できない施設入所者の方への『外出支援サービス』について、1 名の利用希望を受け 9 名となりました。沖縄から関西に旅行で来られた方の外出支援を行うことができました。定期的に利用される方は 3 名と変わらず、実績は 32 件（223 時間）となりました。カラオケや映画、外食などのお出かけができて満足していただくことができました。また、より多くの方にサービスについて知っていただくための地域の入所施設等への啓発活動も継続する予定です。当サービス利用に係る利用料負担軽減のために京都地域創造基金の寄付金募集事業も行い、寄付金募集活動も 10 年目に入り、目標寄付金額に近い額を集めることができました。来年度も事業の継続が決まり、更なる発展を目指したいと思えます。

地域の福祉事業所と合同で開催している『そらいろ勉強会』は 1 度開催することができました。城陽市障害者自立支援協議会への積極的参画を継続し、自立支援協議会の協力を受け、『グループホームスタッフセミナー』を 2 度開催することができました。参加者が多く、来年度以降も継続させていきます。

広報活動は、YouTube 公式チャンネル『ゆうさぼチャンネル』での配信に力を入れました。広報紙は 3 回発行し、ブログ・ホームページ・SNS・YouTube の更新は随時行いました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (概算)(単位:千円)
障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業	居宅介護事業、重度訪問介護事業、行動援護事業の実施。	(A)2023年4月1日～2024年3月31日 (B)京都市伏見区、宇治市、城陽市、京田辺市 (C)16名	(D)京都市伏見区、宇治市、城陽市、京田辺市に住む障がい者 (E)17名	30,000
障害者自立支援法に基づく相談支援事業	指定特定相談支援事業、障害児相談支援事業の実施	(A)2023年4月1日～2024年3月31日 (B)京都市伏見区、宇治市、城陽市、京田辺市 (C)1名	(D)城陽市、京田辺市に住む障がい者 (E)3名	1,000
障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業	① 移動支援事業の実施。 ② 日中一時支援事業の実施。	(A)2023年4月1日～2024年3月31日 (B)京都市伏見区、宇治市、城陽市、京田辺市 (C)16名	(D)①京都市伏見区、宇治市、城陽市、京田辺市に住む障がい者 ②城陽市に住む障がい者 (E)36名	12,000
障害者の地域生活支援の為の事業	① 施設入所者の方への外出支援サービスを行う ② 青少年野外活動総合センター友愛の丘にてバーベキュー開催。障がいがある方と家族の交流の場を持つ	(A) ①2023年4月～2024年3月 ②2023年11月19日	(D) ①城陽市の施設入所者 ③ 45名	400
福祉、介護に係る教育研修及び情報交流事業	① ヘルパーステーションそらいろ従業者を対象にした勉強会の実施。 ② 地域のグループホーム向け研修会の実施。	(A) ①2023年7月13日 ②2023年8月30日 2024年1月17日	(D) ① そらいろの従業者 ② 京都、宇治、城陽、京田辺、木津川市のグループホーム従業者 (E) ① 5名 ② 61名	600
ホームヘルパー養成研修に関する業務	準備中。	(A)なし (B)なし (C)0名	(D)なし (E)0名	0

(備考)

- 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。